

全6会計を認定

総額57億8,744万6千円



平成29年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか7名（議長を除く）の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月20日から21日までの2日間、一般会計を含む6会計について審議が行われ、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。

主な内容は11頁から12頁に掲載しています。

平成29年度の各会計決算額

（単位：千円）

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一	般 会 計	4,373,005	4,258,264	114,741
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	906,797	810,720	96,077
	介護保険特別会計 （保険事業勘定）	584,011	535,834	48,177
	介護保険特別会計 （サービス事業勘定）	1,354	1,354	0
	後期高齢者医療特別会計	64,199	64,107	92
	浄化槽整備特別会計	30,530	30,530	0
	水道事業会計	111,141	86,637	24,504

■総務費

問 ふるさと応援基金は、寄付される方の思いが込められている。支出に当たっての方向性を今一度精査する必要があるのでは。

（熊野茂夫議員）

■答

支出に当たっては、まちづくり推進会議に諮り、承認を得たものに活用する。今回は歴史図書に活用するが、高校など教育分野の活用が多い。今後、産業やまちづくりなど、団体にPRしながら対応していきたい。

■農林水産業費

問 昨年、漁組理事との懇談会で、ナマコ稚仔潜水調査の結果、残存率が非常に良く今後に期待が高まるとの発言があった。状況を教えてください。

（花田勇議員）



ナマコ稚仔

■答

開発局が、白符漁港でナマコ放流後の追跡調査とDNA調査を実施している。

漁組で独自に生産している稚ナマコについては、まだ安定した生産はできていないが、福島・白符・吉岡に分けて放流している。

■商工費

問

両記念館だけでは、年々入込客が減って行く。過去にも実施例はあるが、PR活動で誘客を図る考え方は？

(川村明雄議員)

答

体験観光も組み合わせ、地方創生事業のプロモーション活動プログラムの中にPR活動を入れていきたい。

■土木費

問

春先の町道舗装がだんだん遅くなってきていると思う。どのような発注をしているのか？

(木村隆議員)

答

今年は雪が多く、早めに道路状況を調査のうえ発注し、早めの施工をお願いしたが、国道の悪いところから、舗装業者が手がけなければならぬ状況があった。

■消防費

問

胆振の地震の影響で福島町でも停電の影響を受けたが、町で以前配布していた「非常用持ち出し袋」に入っていたラジオが情報入手の手法となり役だったと多くの人から聞いた。今一度町民周知に努めていただきたい。

(佐藤孝男議員)

答

周知に努めるとともに、消耗しているものもあると思うので、日赤福島分区分内会とも協議して補充することも考えていきたい。

■教育費

問

町民プールは、昨年度から無料となっているが、利用状況はどうなっているか？

(杉村志朗議員)

答

平成29年度は、前年対比287人増の3,311人の利用があった。町内外の率では、町内88%、町外12%となっている。

■水道事業

問

近頃はピンポイントで豪雨が降るが、水源地の管理は支障なくできているか？

(平沼昌平議員)

答

大雨が予想される時は、職員が浄水場に出向き大丈夫なように調整を行います。通常は、役場にある中央監視装置で管理している。

■総括質疑

問

国道や道々は予算縮少を理由に、草で荒れ放題の道路や花壇がある。

状況によって、町で手をかけるとのことだが、国や道に対して町に管理を任せるよう声を上げてはどうか？

(溝部幸基議長)

答

先行的にやらせていたみたいと、管理者と協議し、町単独でやっている部分がある。以前、管理者の違う道路が交差する部分の除雪について「町に任せてもらえば、合理的に出来る。」と話をした経緯もある。協議の場があるので、積極的に声を上げていきたい。



非常用持出袋

